

アフガニスタン・イスラム共和国 きょうわこく

	<p>黒は外国に支配されていた暗い過去、赤は闘いで流された血、緑は独立・平和・イスラム教を表しています。</p>
<p>しゅと 首都</p>	<p>カブール</p>
<p>こくど 国土</p>	<p>面積 65万2,225km² (日本の1.7倍)</p> <p>6か国に囲まれた内陸国です。南部は砂漠、東部・中部・北部はヒンズークシュ山脈に連なる山岳地帯です。国内を流れるいくつかの川は砂漠のなかに消える内陸川で、東流するカブール川だけがインダス川と合流して海に注いでいます。</p>
<p>じんこう 人口</p>	<p>2,815万人</p>
<p>げんご 言語</p>	<p>パシュトゥ語 (公用語)、ダリ語 (公用語)</p>
<p>つうか 通貨</p>	<p>アフガニー</p>
<p>きこう 気候</p>	<p>国土の大部分は乾燥した大陸性高原気候で、年間を通じて日本の10分の1程度の雨量です。春や秋に南部と中央部に1年で一番多く降り、北部は南部と中央部よりは少ないです。寒暑の差が大きく、夏は40℃以上、冬は-15℃以下まで下がる場合があります。6～9月は</p>

	<small>きょうふう</small> 強風が吹きつけ、俗に「風 <small>かぜ</small> の120 <small>にち</small> 日」と呼ばれるほどです。 <small>ほくふさんがく</small> 北部山岳 <small>ちたい</small> 地帯は冷帯 <small>れいたい</small> に属 <small>ぞく</small> しています。
<small>みんぞく</small> 民族	パシュトゥン、タジク、ウズベク、ハザラ
<small>しゅうきょう</small> 宗教	イスラム教 <small>きょう</small> スンニ派 <small>は</small> 、イスラム教 <small>きょう</small> シーア派 <small>は</small>

パシュトゥ語・ダリ語を話してみよう

おはよう	サラーム ム パ ハイル	ソブフ バ ハイル
こんにちは	サラーム アレイクム	サーラム アレイコム
さようなら	ダホダーイ パーマーン	ホダー ハーフイズ、パーマーネ ホダー
ありがとう	タシャクル	タシャッコル
ごめんなさい	オバッハー	ベバフシード
はい	ホー	バレ
いいえ	ヤ	ネー
<small>なまえ</small> 名前	ヌム	
<small>せんせい</small> 先生	ウス タズ	
<small>とも</small> 友だち	アウ リヤー	ドスト
<small>べんきょう</small> 勉強	ターエルウム	

かぞ かつ 数え方	①ヤク ②ドゥア	①ヤク ②ドゥ
	③シー ④ツァロア	③セ ④カハー
	⑤ピンザー⑥シパグ	⑤パン ⑥サス
	⑦ウーワム⑧アテ	⑦ハフトゥ⑧ハストゥ
	⑨ノー ⑩ラス	⑨ノー ⑩ダー

※カタカナ^{ひょうき}表記ですので、^{げんおん おな}原音と同じではありません。

がっこうせいかつ 学校生活

^{なが せんそう つづ}長く戦争が続き、^{がっこう しせつ}学校の施設ばかりでなく、^{きょういくしせつ}教育施設そのものがこわされてしまいました。

^{や ね}屋根のない^{きょうしつ}教室やテントで^{つよ}強いひざしに^て照り付けられながら、^{じめん}地面にすわって^{じゅぎょう う}授業を受けている子どもたちが^{おお み}多く見られます。

^{にち}1日^{こうたい}3～4交代で^{じゅぎょう おこな}授業を行っている^{がっこう}学校がたくさんあります。

せいかつ ようす 生活の様子

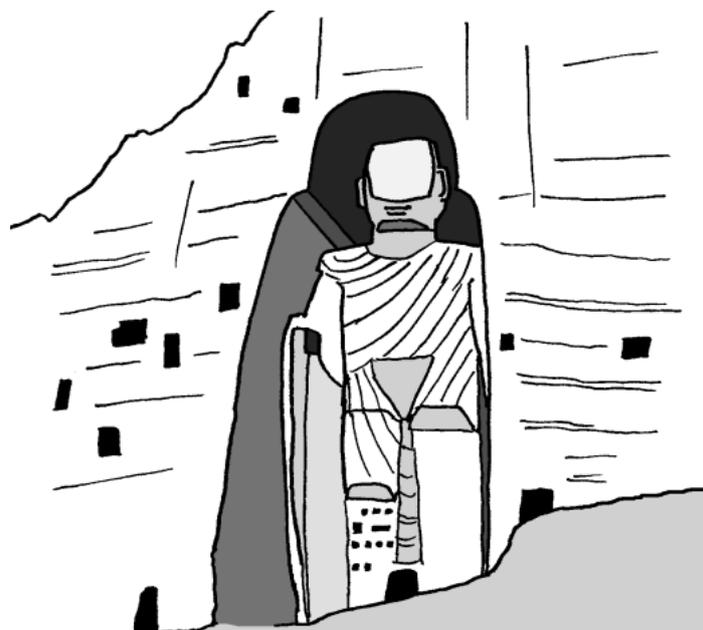
^{しょくじ}食事のときは、^{い まけん}居間兼ダイニングである^{じゅうたん}じゅうたんが敷かれた^し部屋に^{へ や}ビニールのテーブルクロスを敷き、^しその上^{うえ りょうり}に料理をおいて、^{かこ}みんなで^て囲んで、手とスプーン、フォークを^{つか}使って^た食べます。^{ちょうしょく}朝食はナン（^{ちやう}ジャムや^{りゆう}クリーム）と^{こうちや}紅茶かミルク、^{りよくちや}緑茶、^{たまごなど}ゆで卵等、^{ちゅうしょく}昼食は^{にく}肉（^{らむ}ラム・^{とり}鶏）、^{やさい}バターライス、ナン、野菜

サラダ等、夕食は魚のから揚げ、肉の煮込み、ナン等を食べます。

代表的な料理には、肉じゃがのような「コールマ」、羊肉や牛肉を香辛料につけておき、長い鉄串にさして焼いた「カバブ」、長粒米のピラフである「パラウ」があります。

女性が伝統的に着ているのが、頭からつま先まですっぽりと覆ってしまう「ブルカ」です。目の部分が網目になっているので、中から外が見えますが、外から女性の顔は見えないようになっています。

日干しレンガの住まいが一般的です。鉄筋コンクリートの建物が比較的多い首都カブールでも、一般住民の住まいの多くは、屋根は木造で、レンガを積み、壁を泥で固めたようなものもあります。



バーミヤン遺跡